# 言語資源　利用申請書　兼　誓約書

特定非営利活動法人　言語資源協会（GSK）

会長　橋田浩一　殿

言語資源「京都大学格フレーム Ver 2.0」(GSK2018-B)の利用を申請します。

言語資源を利用するに際し、下記の条件を遵守します。万一、下記条件に違反し、言語資源協会ならびに言語資源所有者、開発者等に損害を与えた場合、相当の賠償責任を負うものとします。

**利用条件：**

１．配布を受けた言語資源は、教育・研究のみに使用すること。

２．配布を受けた言語資源のすべてあるいは一部について、第三者に配布、貸与、刊行、売買など、これらに類する行為をしないこと。

３．配布を受けた言語資源を使用して得られた知見に関する研究発表あるいは成果発表を行う場合は、その言語資源名および所有者名を明記すること。

４．上記の場合、言語資源協会の要求があったときは、論文別刷り等を提出すること。

５．利用終了後１ヵ月以内に、配布を受けた言語資源を協会に返却または破棄すること。

６．＜免責＞配布を受けた言語資源の内容に関して、言語資源協会に対していかなる保証も要求せず、本言語資源を格納した記録媒体や機器等、及び本言語資源の使用の結果によって発生する一切の直接もしくは間接的損害及び知的財産紛争について、言語資源協会に対して責任を求めないこと。

７．＜法令遵守＞配布を受けた言語資源の使用に関し外国為替及び外国貿易管理法等、技術輸出に関する日本、米国及び関係国の全ての関係法規を遵守すること。

８．下記の特記事項の趣旨を理解し、遵守すること。

**特記事項**：京都大学格フレーム Ver 2.0

１．本言語資源の配布を受けたものの氏名（団体の場合は団体名および利用代表者氏名）・所属・連絡先等について、言語資源協会が本言語資源の所有者に報告することに同意すること。

２．本言語資源は、GSK会員限定無料配布言語資源である。言語資源協会の会員は、年度内一件のみ、会員限定無料配布言語資源を無料で入手できる。年度内二件目以降にあたる場合は、一件につき5,000円（税・送料別）とする。本言語資源は非会員には配布しない。

３．本言語資源の旧版（GSK2008-B）の利用者は、旧版入手時から継続して会員資格を持つ場合、年度内のGSK会員限定無料配布言語資源の利用件数に関わらず、本言語資源を無料で入手できる。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 申請・誓約日：西暦20 年　月　日 | | 利用種別：個人／団体 | | |
| 利用目的：　　　　　　　　　　　　 　（例: ～に関する研究、～における教育） | | | | |
| 会員種別：個人会員／団体会員 | | | 会員番号： | |
| 価格種別：無料／有料 | | | | |
| （個人の場合） | | | | |
| 氏名： | | | | |
| E-mail： | | | | 電話番号： |
| 送付先住所：（勤務先／自宅）〒 | | | | |
| 所属など： | | | | |
| （団体の場合） | | | | |
| 団体名： | | | | |
| 住所：〒 | | | | |
| 利用代表者氏名： | 所属・役職： | | | |
| 連絡担当者氏名： | 所属・役職： | | | |
| E-mail： | | | | 電話番号： |

※この「言語資源利用申請書兼誓約書」は、言語資源協会に送付するほか、写しを手元に残しておき、いつでも内容を確認できるようにしてください。

※利用種別、会員種別の記入に際しては、「会員種別と利用種別の個人・団体について」<https://www.gsk.or.jp/catalog/explanation/>をご覧ください。

※団体は法人である必要はありません。どのような団体であるか、ご説明をお願いする場合がありますのでご了承ください。

※団体の代表者は利用団体としての責任者（部門であれば部門長、研究室であれば室長または責任者の先生等）をご記入ください。

※請求書の送付先・請求書の書類上の宛名等にご指定がある場合には、下記通信欄にご記入ください。ご指定のない場合は、申請者様（団体の場合は利用団体様）を宛名とした請求書を、申請者様（団体の場合は利用代表者様）宛てに郵送いたします。

※その他、何かご要望がありましたら、下記通信欄にご記入ください。

＜通信欄＞